

平成30年第1回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

平成30年2月23日（金）～27日（火）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
2月23日	日本共産党 宝塚市会議員団	となき正勝 議員	150分	9:30～12:00
	公明党議員団	藤岡 和枝 議員	135分	13:10～15:25
	ともに生きる 市民の会	梶川みさお 議員	130分	15:40～17:50
2月26日	自民党議員団	富川晃太郎 議員	150分	9:30～12:00
	安全で誇れる 宝塚をつくる会	北山 照昭 議員	150分	13:00～15:30
	市民ネット宝塚	石倉加代子 議員	135分	15:45～18:00
2月27日	新風改革の会	大川 裕之 議員	120分	9:30～11:30

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	<p>1 国の悪政を住民の暮らしにそのまま持ち込むのか、暮らし・福祉・子育てを守る「防波堤」の役割を果たすのか</p> <p>(1) 国保税の引き下げを</p> <p>ア 一般会計繰り入れ</p> <p>(2) 市立病院の充実を</p> <p>(3) 市民の健康を守る取り組み</p> <p>ア 検診受診率の向上</p> <p>(4) 介護保険制度の充実を</p> <p>ア 介護保険料・利用料の負担軽減</p> <p>イ 特養ホームなどの基盤整備</p> <p>ウ 介護労働者の処遇改善</p> <p>(5) 障がい児・者、難病患者の負担軽減を</p> <p>ア 市民福祉金の削減・廃止による暮らしへの影響は</p> <p>イ 「特定疾病患者見舞金の廃止」は再検討を</p> <p>(6) 生活保護の改悪をやめさせ、生活困窮者のサポート体制強化を</p> <p>(7) 「子どもの貧困」の打開を</p> <p>ア 就学援助の充実、ひとり親家庭への支援の強化</p> <p>(8) 子どもの医療費無料制度の拡充を</p> <p>(9) 保育所の充実を</p> <p>ア 認可保育所の増設による待機児童解消</p> <p>イ 保育の質の維持・向上を</p> <p>ウ 保育料の負担軽減</p> <p>エ 保育士の待遇改善</p> <p>(10) 教育条件の整備を</p> <p>ア いじめの根絶</p> <p>イ 少人数学級</p> <p>ウ 学校給食無料化</p> <p>エ 給付制奨学金の拡充</p> <p>2 地域の力を活かす産業振興</p> <p>(1) 労働相談窓口</p> <p>(2) 非正規から正規への転換</p> <p>(3) 公契約条例</p> <p>(4) 再生可能エネルギーの開発、普及を推進</p> <p>3 災害から市民の命と財産を守る</p>

- (1) 被災者支援
- (2) 災害に強いまちづくりを
 - ア 道路、上下水道、公共施設
 - イ 住宅の耐震診断・耐震補強

4 平和施策について

- (1) 憲法9条を生かした平和の国づくりを

(日本共産党宝塚市会議員団 となき 正勝 議員)

2 1 市政運営の基本方針

- (1) 命と暮らしを大切にすまち
 - ア 安心して受診できるかかりつけ医体制づくりについて
- (2) 市民とともにつくる、持続可能なまちづくり
 - ア 「エイジフレンドリーシティ」の具体的取り組みについて

2 平成30年度予算に関する主要な施策

- (1) これからの都市経営
 - ア まちづくり計画の見直しのための職員体制について
 - イ 人材育成の課題の認識について
 - ウ 病院事業の経営改革の取組について
 - エ 公共施設の統廃合・適正な管理保全について
 - オ 新庁舎・ひろば整備事業の今後の計画について
- (2) 安全・都市基盤
 - ア 災害に強いまちづくり実現のうち、福祉施設との相互応援体制とは
 - イ 防犯カメラ設置の2019年度以降の計画について
 - ウ 「宝塚市自転車の安全利用に関する条例」の改正に向けた取組内容について
 - エ 空家等対策の相談体制について
 - オ 小林と亀井の両浄水場の業務停止時期と跡地利用の方針について
- (3) 健康・福祉
 - ア 医療と介護のネットワークの強化について
 - イ 障がい者福祉の拡充施策について
 - ウ 「健康たからづか21第2次後期計画」の策定に当たっての健康づくりの課題について
 - エ せいかつ応援センターにおける相談体制の機能強化について
- (4) 教育・子ども・人権
 - ア 小学校の小規模校の適正化についての取組状況と今後の方針
 - イ いじめの実態について

- ウ 子どもたちが主体的に取り組むいじめ防止活動について
- エ 子どもCAPワークショップ実施について
- オ 保育士のスキルアップへの取組と私立保育所における保育士確保に向けての支援について
- カ 保育施設における待機児童の解消に向けての取り組みについて
- キ 就学援助における新入学学用品費の入学前支給について
- ク 人権・同和における差別事案への対処について
- (5) 環境
 - ア 西谷地区におけるソーラーシェアリングの取組について
 - イ 宝塚市新ごみ処理施設整備事業の進捗状況について
- (6) 観光・文化・産業
 - ア 文化芸術施設・庭園整備事業を今このときに実施する意義とは
 - イ 手塚治虫記念館の海外からの入館者増加対策について
 - ウ 宝塚北サービスエリアで販売する「宝塚 花の里・西谷」を初めとする特産品とは
 - エ ソーシャルビジネススタートアップスクールの具体的な内容とその成果について
 - オ 四季ごとの事業実施の検証は

(公明党議員団 藤岡 和枝 議員)

- 3 1 宝塚市行財政改革について
- (1) 2つのプロジェクトについて
 - ア 文化芸術施設・庭園整備事業の問題点
 - イ 新庁舎・ひろば整備事業の問題点
 - (ア) 3年延伸した理由
 - (イ) 上下水道局庁舎の耐震診断は
 - (2) 市役所組織の活性化について
 - ア 職員の長時間労働への改善策は
 - イ 定員適正化について
 - ウ 役職（課長・係長）への昇格研修希望者をふやす対策は
 - エ 人材育成への対策は
 - (3) 不転職の決意を持って、行財政改革に取り組むとは
- 2 安全・都市基盤（安全・安心）について
- (1) 防犯カメラの設置について
 - ア 市民のプライバシーは守れるのか
 - イ 要綱及び協定書に基づく警察等へのデータ提供について

- ウ 自治会等が希望しているカメラの設置補助の充実について
- (2) 都市計画道路の進捗状況について

3 健康・福祉について

- (1) 障害福祉
 - ア 障害福祉基金の使途について
 - イ 「宝塚市障害福祉計画・宝塚市障害児福祉計画」に定める施策の総合的かつ計画的な推進について
 - ウ 市民福祉金廃止条例附帯決議の実施について
- (2) 市立病院について
 - ア 地域の医療機関と市立病院の連携による地域完結型医療の今後をどう考えるか
 - イ 消防との連携－救急ワークステーションの役割とドクターカーの運用状況
 - ウ がんセンターの見込みは
 - エ 地域包括ケアシステムの中での市立病院の使命は

4 教育・子どもについて

- (1) 市立小学校の学校規模適正化及び市立幼稚園の統廃合計画の進捗状況は
- (2) 市立幼稚園について
 - ア 仁川幼稚園・長尾幼稚園の3年保育の応募状況と今後は
 - イ 保育室の空調設備設置計画は
- (3) CAP（子どもへの暴力防止プログラム）について
 - ア ようやく市の施策として全小学校で採用されるとのことだが、その経緯は
 - イ その実施計画は
- (4) 保育所事業について
 - ア 医療的ケアを必要とする子どもが入所できないのは、法に抵触しないか
 - イ 入所要件の優先事項に「保護者の障害」がない理由は
 - ウ 潜在保育士・教員の復帰支援策について

(ともに生きる市民の会 梶川 みさお 議員)

- 4 1 これからの都市経営について
 - (1) 「第6次宝塚市総合計画」策定に向けた市民意識調査は、どのように市民を抽出の上実施するのか
 - (2) まちづくり協議会への支援による「地域ごとのまちづくり計画」とは、どの範囲まで計画されるのか
 - (3) どのように市役所内の職場環境の整備に取り組み、組織全体を活性化していくのか

(4) 本市に多くの人を呼び込むためのシティプロモーションの具体的な活動は

2 安全・都市基盤について

- (1) 市民に防災についての意識を高めてもらうため、特に自助の取組に対する啓発はどのように実施するのか
- (2) 自主防災組織への育成指導はどのように実施するのか
- (3) 防犯カメラの設置状況と犯罪抑止効果の現状は
- (4) 自転車安全利用推進員の役割と活動状況は
- (5) 自転車ネットワーク整備事業により、どのエリアを整備するのか
- (6) 市内での交通事故による死亡者がふえているが、さらなる安全対策はされているのか
- (7) 管理が適切に行われていない空家等の件数は「宝塚市空家等対策計画」により減少しているのか
- (8) 都市計画道路荒地西山線はいつ完成できるのか、また、今後の都市計画道路の整備方針は

3 健康・福祉について

- (1) 障がい者就労支援の実績と、どのようにして就労・定着支援の体制強化を図るのか
- (2) 障がい者グループホームの開設状況と需要予測は
- (3) 「健康たからづか21」により、市民の健康づくりに対する意識はどのように変化しているのか
- (4) エイジフレンドリーシティ事業の新年度の取り組みは

4 教育・子ども・人権について

- (1) 学校園施設の老朽改修工事の整備予定は
- (2) 幼稚園の保育室空調設備設置予定は
- (3) 宝塚自然の家のリニューアル計画は
- (4) 保育施設における待機児童の地域別傾向と分園・新設整備される地域は整合しているか

5 環境について

- (1) 新ごみ処理施設建設基金への積立方法は現行制度を貫くのか
- (2) 宝塚すみれ墓苑と長尾山霊園の新年度の貸出計画と計画達成のための活動は
- (3) ソーラーシェアリングや小水力発電への取組状況は

6 観光・文化・産業について

- (1) 文化芸術施設・庭園整備事業の管理について、なぜ施設と庭園を同一業者で管

理しようとしているのか

- (2) 手塚治虫記念館のリニューアルにより、新たにどのように魅力アップを図るのか
- (3) 新名神高速道路と宝塚北スマートインターチェンジの供用が開始されることに伴い、本市にどれだけの経済効果がもたらされるのか
- (4) 宝塚北サービスエリアでの本市の魅力アピールはどのようにするのか
- (5) 市内の空き店舗の利活用・新規出店を促進していく中で、市内の空き店舗の件数等の推移状況は
- (6) 北部地域の土地利用規制の弾力的運用に向けた動きへの反響は
- (7) 地場産業の植木産業の活性化に向けた取り組みは
- (8) 生産緑地制度の面積要件等の改正に向けた考え方は
- (9) 就労支援の取組状況は

7 公営企業について

- (1) 阪神水道企業団からの受水による実績検証と二次受水による経営状況予測は
- (2) 上下水道管路更新の進捗状況と更新計画は
- (3) 口谷・南ひばりガ丘周辺の浸水対策事業の対策状況と予算措置状況は
- (4) 病院事業における「宝塚市立病院改革プラン2017」と新年度予算との差異の要因は
- (5) 新しく開設される「がんセンター」の部門としての収支等の見込みは
- (6) 地域完結型医療の阪神北圏域内完結率が71.8%と県内で最も低い、この課題解決に向けた構想は
- (7) 地域医療調査研究の内容と目的は（総務費・企画費・企画調整事業）
- (8) 病院事業のキャッシュ・フローについて
- (9) 退職手当組合負担金の各会計間の過去を含めた負担金のアンバランス状況と、各会計における解消に向けた考え方は

8 行財政改革について

- (1) 各事務事業の見直しは、市民に対しどのように丁寧な説明を行っていくのか
- (2) 新庁舎建設工事の着手を3年間延伸することによる、財政への影響は

9 国民健康保険事業について

- (1) 国民健康保険事業の保険者が兵庫県に広域化されることについて
 - ア 宝塚市財政への影響は
 - イ 市民への影響は

(自民党議員団 富川 晃太郎 議員)

- 5 1 「南海トラフ地震発生確率上昇」など、災害への備えはできているのか
- (1) 耐震性が基準値に満たない住宅などや公共施設の解消はどこまで進んだのか
ア 戸建て、マンション等の対策は
イ I s 値が0.3未満の現上下水道局庁舎及び自然休養村センターは
 - (2) 土砂災害警戒区域（急傾斜地）の災害防止対策（公共用地・民間用地別）は
 - (3) ゲリラ豪雨、集中豪雨の対策、低地帯対策はどこまで進んでいるのか
 - (4) マンションを防災拠点に
「在宅避難」重視への見直しを
- 2 「入るを量りて出ざるを制する」（平成29年度施政方針）と「事業廃止や見直しを、心を鬼にして進める」（当時の記者会見）について
- (1) 市長の仕事始め式挨拶と深刻な財政危機に対する市トップとしての認識について
 - (2) 文化芸術施設整備を優先し、市民には負担増、それでは理解は得られない
 - (3) 職員の重病者発生や係長級昇格研修辞退等の実態と士気低下の現実直視を
- 3 「新庁舎事業は3年遅らせる」と「命と暮らしを大切にすまち」について
- (1) 庁内の声「職員の命より、文化芸術施設が優先なのか」、職員の命は
 - (2) 深刻な財政危機の中で、なぜ豪華なガラス張りの新庁舎なのか
 - (3) 新たな「市民ひろば」は必要か、末広中央公園や河川敷の活用で十分では
 - (4) 上下水道局は、業務内容を踏まえ、浄水場跡地に、新局庁舎・工務関係・駐車場の一体整備で、市民負担・料金値上げを回避するべきではないのか
 - (5) 平成28年4月、宝塚自然の家休所・小浜工房館休館時の説明は
ア 「宝塚自然の家と小浜工房館」の再開と活用は
- 4 生活道路など市民生活に直結する道路施策の実施を
- (1) 都市計画道路競馬場高丸線は、覚書に基づき、懸案事項の払拭と安全確認が前提では
 - (2) 生活道路整備や踏切道拡幅、道路安全策、ベンチ設置など市民要望の対策予算は
 - (3) 新名神高速道路開通に伴う、中山台地区・山手台地区への影響と渋滞の対策は
- 5 何より「子どもにとって望ましい」教育環境と教育施設・制度の整備を
- (1) 中山五月台小学校の児童は今年度117名、今のままでは100名を割る事態も
 - (2) 中山台地区のまちづくり、まちの活性化のため小中一貫教育校制度の導入を
 - (3) 小学校の「統合」後は、閉鎖ではなく、里山やグラウンド及びわんぱく広場などを含め、教育と社会体育団体などの活動の場に

- (4) 学校施設及び雨漏りの改修とトイレ改修の予算の確保は
- (5) 教員の休日確保と外部指導員の充実のための予算は

(安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭 議員)

6 1 平成30年度市政運営の基本方針等について

(1) 「コミュニティが活発であった頃の、主体的にまちづくりに関わる精神を現代に蘇らせる」とは、どのようにするのか

(2) 安全で安心して暮らせるまちづくり

ア 救急医療センターが開設されたが、現状と課題について

イ がんセンターがオープンするが、整備状況とがん薬物療法や放射線治療について

(3) 平成30年度予算の主要施策について

ア これからの都市経営

(ア) 「第6次宝塚市総合計画」の策定に向け、「第5次宝塚市総合計画」の総括について

(イ) 市民意識調査について

(ウ) 市職員が地域に出向く体制について

(エ) 企業会計の経営において

a 「宝塚市立病院改革プラン2017」に掲げられた施策の実行から

(a) 在宅医療について

(b) 医師不足について

(c) 緩和ケア病棟について

(d) 周産期医療の現状と課題について

b 「宝塚市水道事業経営戦略」及び「宝塚市下水道事業経営戦略」について

(ウ) 市が保有する公共施設の統廃合や適正な管理・保全について

(カ) シティプロモーションのための戦略は

イ 安全・都市基盤

(ア) 防災行政無線設備の整備について

(イ) 「いつ起こってもおかしくない南海トラフ地震」と示しながら、防災センター、新庁舎整備を3年間延ばすことについて

(ウ) 「宝塚市消防サポート隊」と「消防サポート隊協力事業所」について

(エ) 空家等対策計画をどのように進めようとしているのか

(ウ) 都市計画道路荒地西山線についての今後のスケジュールは

ウ 健康・福祉

(ア) 国民健康保険事業において医療費の抑制と徴収のさらなるアップは

(イ) 認知症対策について

(ウ) がん相談機能の運用について

エ 教育・子ども

(ア) 幼小中の適正規模及び適正配置の取り組みについて

(イ) いじめ対策について

(ウ) 小学校3・4年生に拡充される英語教育は、いかに進めるのか

(エ) 中央公民館の第2期開館に向けた人材育成と専門職の配置について

(オ) 待機児童の解消に向けての対策について

(カ) 就学援助費について

オ 観光・文化・産業

(ア) 文化芸術施設・庭園整備について

(イ) 手塚治虫記念館は、どのような方針でリニューアルするのか

(ウ) 音楽のまち宝塚について

(エ) 新名神高速道路と宝塚北スマートインターチェンジの供用開始に伴う宝塚らしさの発信は

(オ) 「宝塚 花の里・西谷」について

(カ) 長谷牡丹園の牡丹や宝塚ダリア園のダリアについて

(キ) 「ソーシャルビジネススタートアップスクール」の開講について

(ク) 「ジャパン碁コンgres」について

(ケ) 「木接太夫」坂上頼泰公のブランド化、商品製作は、本市の花き植木産業の活性化にどうつなげていくのか

(コ) 高齢者の「生きがい就労の場」の創出について

(市民ネット宝塚 石倉 加代子 議員)

7 1 財政の見通しについて

(1) 市税について

(2) 地方譲与税・交付金及び地方交付税等について

(3) その他収入について

(4) 人件費について

(5) 公債費について

(6) 扶助費について

(7) 補助費等及び繰出金について

(8) 基金について

2 市政運営の基本方針及び主要な施策について

(1) 市政運営の基本方針

ア 「本市の新たな歩みに向けて」とあるが、新たな歩みとは何を指すのか、新たな歩みに向けて平成30年度はどのような位置づけになるのか

イ 市立病院は、現在の経営状況で「安心して受診できる医療体制」を維持できると考えているのか、維持していくための経営上の課題は何か

ウ 「コミュニティが活発であった頃」とはどのような時代を指すのか、現状のコミュニティ活動に欠けているものとは何か

エ 創造性に満ちたまちづくりを目指すとあるが、創造性とは程遠い文化を持つ宝塚市職員がその職務を担えるのか、文化芸術施設を建設すれば創造性に満ちたまちづくりができると考えているのか

(2) これからの都市経営

ア 人材育成におけるワーク・ライフ・バランスの推進とは具体的にどのような施策を行うのか

イ 新庁舎建設工事の着手を3年間延伸するとあるが、その3年間にこのエリアのまちづくりにどう有効活用するのか

(3) 安全・都市基盤

ア 小林・亀井両浄水場の今後の活用について、どのように考えているのか

(4) 健康・福祉

ア 市民福祉金の相当額を基金に積み立てるとあるが、これをアクションプランの効果額として計上するのは無理があるのではないか

(5) 教育・子ども・人権

ア 他市と比較しても、創造性に満ちているとは到底言い切れない市立図書館について、教育委員会は今後の図書館像をどのように描いているのか

(6) 環境

ア 新ごみ処理施設について、PPP/PFIを正しく理解した上で、事業方式の選定が行えるのか

(7) 観光・文化・産業

ア 新たに建設される文化芸術施設は、関連団体や第三セクターによる従来型の指定管理を想定しているのか、それとも施設管理というより「まちづくり」を視野に入れた提案を積極的に評価する新たな指定管理の形を目指しているのか

(新風改革の会 大川 裕之 議員)